

# 《成人の予防接種の考え方と選択 ①～④ 2023》

〔渡航者の年齢、渡航先、渡航期間、準備期間、現地での行動、本人と企業の感染症への認識度・理解度、予防接種記録によっても異なる〕

## 1) 東～東南アジアなどの都市部へ、長期の赴任・駐在

接種日	【A】：昭和43年以前の生まれ				【B】：昭和44年以降の生まれ				(MMRV：麻疹風疹おたふく水痘の抗体検査)									
	Tdap	DPT	DPT-P	破傷風	DPT	DPT-P	A型肝炎	B型肝炎	日本脳炎	狂犬病	IPV	髄膜炎菌	腸チフス	ダニ脳炎	MMRV	インフル	黄熱	マラリア
初日	◎	○	○		◎	○	◎	◎	◎	○					◎			□
1週間後										(○)					不足を追加			
3～4週間後	◎			○			◎	◎	(◎)	○			○	(◎)				△
6カ月～1年後							◎	◎										
1年後		◎								△ハリスク								□
3-5年後										○ハリスク								

【◎：ぜひとも【推奨】 ○：できるだけ【推薦】 □：できれば【推選】 △：希望なら】

破傷風だけでなく、ジフテリアと百日咳の感染予防が大切。初回と2回目にTdapを推奨。  
次善策として、初回はDPT、2回目は破傷風も可。  
半年後の追加はDPTを推奨。流行するのは百日咳とジフテリア。破傷風を2回打つ意義はない。

通常はDPT、インド周辺諸国への出張がありそうならポリオを含んだDPT-P。40歳代以上はTdapも可。  
狂犬病は、輸入ワクチンで1週間後と3-4週間後の3回法、あるいはWHO方式で2回法。暴露後は2回追加。  
日本脳炎は、母子手帳記録に3回ほどあれば1回でも可。30歳-40歳以上なら2回を推奨。  
麻疹風疹おたふく水痘の抗体検査で不足分のみを追加。一時帰国で追加分の再検査。MR接種のみは無駄。  
A型肝炎・B型肝炎は輸入混合ワクチンを推奨。2回でB型肝炎は80%陽転（国産は30%程度）。既接種なら初日に検査。

## 2) 南西アジア（インドとその周辺諸国）へ、長期の赴任・駐在

接種日	【A】：昭和43年以前の生まれ				【B】：昭和44年以降の生まれ				(MMRV：麻疹風疹おたふく水痘の抗体検査)									
	Tdap	DPT	DPT-P	破傷風	DPT	DPT-P	A型肝炎	B型肝炎	日本脳炎	狂犬病	IPV	髄膜炎菌	腸チフス	ダニ脳炎	MMRV	インフル	黄熱	マラリア
初日	○	○	◎		○	◎	◎	◎	◎	○					◎			□
1週間後										(◎)			◎		不足を追加			
3～4週間後	◎			○			◎	◎	(◎)	◎				(◎)				△
6カ月～1年後		◎					◎	◎										
1年後										△ハリスク								□
3-5年後										○ハリスク								

【◎：ぜひとも【推奨】 ○：できるだけ【推薦】 □：できれば【推選】 △：希望なら】

初回はジフテリア、百日咳、ポリオの4種混合推奨。  
TdapとIPVまたはDPT-P（あるいはDPTとIPV）。

DPT-P、またはDPTとIPVを選択。50歳以上ではTdapとIPVでも可。  
狂犬病（WHO方式）と腸チフスは帯同家族にも推奨。哺乳類咬傷後は2回（0, 3日）追加接種必要。

## 3) 欧米先進諸国へ、長期の赴任

接種日	【A】：昭和43年以前の生まれ				【B】：昭和44年以降の生まれ				(MMRV：麻疹風疹おたふく水痘の抗体検査)									
	Tdap	DPT	DPT-P	破傷風	DPT	Tdap	A型肝炎	B型肝炎	日本脳炎	狂犬病	IPV	髄膜炎菌	腸チフス	ダニ脳炎	MMRV	インフル	黄熱	マラリア
初日	◎	○			◎	○	○	◎						○	◎			△
1週間後															不足を追加			
3～4週間後	◎			○			○	◎						○	(◎)			
6カ月～1年後							○	◎						○				
1年後		◎																△
3-5年後																		

【◎：ぜひとも【推奨】 ○：できるだけ【推薦】 □：できれば【推選】 △：希望なら】

初回は百日咳を含んだTdapまたはDPTを推奨。  
初回DPTなら2回目破傷風も可。〔1〕を参照

DPTは留学もありそうならTdapでも可。南部州や中南米への出張があるならA型肝炎も推薦。狂犬病の事前接種は無用。  
ドイツは、これにダニ脳炎を東欧のように計画。東欧への出張があるならA型肝炎も接種。

## 4) ロシア・東欧諸国へ、長期の赴任

接種日	【A】：昭和43年以前の生まれ				【B】：昭和44年以降の生まれ				(MMRV：麻疹風疹おたふく水痘の抗体検査)									
	Tdap	DPT	DPT-P	破傷風	DPT	DPT-P	A型肝炎	B型肝炎	日本脳炎	狂犬病	OPV-IPV	髄膜炎菌	腸チフス	ダニ脳炎	MMRV	インフル	黄熱	マラリア
初日	◎	○			◎		◎	◎		□				○	◎			□
1週間後										(□)					不足を追加			
3～4週間後	◎			○			◎	◎		□				○	(◎)			
6カ月～1年後							◎	◎						○				
1年後		◎												(○)				□
3-5年後														○				

【◎：ぜひとも【推奨】 ○：できるだけ【推薦】 □：できれば【推選】 △：希望なら】

破傷風含有ワクチンは、1)と3)を参照。

ダニ脳炎ワクチンを推薦。短期接種方法も可能（Encepur；0・7-21日・1年、FSME；0・14日・5月・3年）

⇒破傷風を含むワクチンの説明・・・Tdap：成人および留学用の輸入DPTで破傷風を多く含む、DPT：DPT3種混合（破傷風ジフテリア百日咳）、DPT-P：4種混合（DPT+IPV（不活化ポリオ））  
⇒常備している輸入ワクチン：Tdap、A型肝炎・B型肝炎混合（Twinrix）、A型肝炎（Avaxim）、B型肝炎（EngerixB）、狂犬病（Verorab）、MMR（麻疹風疹おたふくかぜ）混合（MMR II）、腸チフス（Typhar, TyphimVi）、ダニ脳炎（FSME-immune）、4価髄膜炎（Niemenrix）  
2023.1 名鉄病院予防接種センター

## 《成人の予防接種の考え方と選択 ⑤～⑦ 2023》

〔渡航者の年齢、渡航先、渡航期間、準備期間、現地での行動、本人と企業の感染症への認識度・理解度、予防接種記録によっても異なる〕

### 5) 中南米・アフリカ中央部に、長期の赴任

接種日	【A】：昭和43年以前の生まれ				【B】：昭和44年以降の生まれ		(MMRV：麻疹風疹おたふく水痘の抗体検査)											
	Tdap	DPT	DPT-P	破傷風	DPT	DPT-P	A型肝炎	B型肝炎	日本脳炎	狂犬病	IPV	髄膜炎菌	腸チフス	ダニ脳炎	MMRV	インフル	黄熱	マラリア
初日	◎	○	○		○	◎	◎	◎			○/◎	○			◎	□		
1週間後											○/◎	○/◎	○/◎		不足を追加			
3～4週間後		◎					◎	◎			○/◎				◎		◎	○/◎
6カ月～1年後		◎					◎	◎										
1年後											△							□
3-5年後											○							

【◎：ぜひとも〔推奨〕 ○：できるだけ〔推薦〕 ○/◎：地域別 □：できれば〔推選〕 △：希望なら】

狂犬病〔WHO式〕は南米アマゾン地域とアフリカ中央部は推奨。

マラリア予防薬も同様に推奨。

### 6) 世界一周や途上国でのボランティア・JICA・自衛官など

接種日	【A】：昭和43年以前の生まれ				【B】：昭和44年以降の生まれ		(MMRV：麻疹風疹おたふく水痘の抗体検査)											
	Tdap	DPT	DPT-P	破傷風	DPT	DPT-P	A型肝炎	B型肝炎	日本脳炎	狂犬病	IPV	髄膜炎菌	腸チフス	ダニ脳炎	MMRV	インフル	黄熱	マラリア
初日	◎		○	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	○				△	◎	○	
1週間後												○	○		△	不足を追加		
3～4週間後		◎	○				◎	○	(◎)	◎					△	(◎)	◎	□
6カ月～1年後							◎	○										
1年後		◎									○							○
3-5年後											△							

【◎：ぜひとも〔推奨〕 ○：できるだけ〔推薦〕 □：できれば〔推選〕 △：希望なら】

④では、Tdap-破傷風-DPTを推奨。南西アジア、中東、アフリカを経由ならIPVも推奨、あるいは初回にDPT-Pを推奨。2回・3回はDPTを推奨。⑥では、DPT-Pを推奨。アジア経由なら日本脳炎を追加。ボランティアなど滞在型はB型肝炎も推奨。世界一周は1か所での滞在期間が短いので狂犬病〔WHO式〕を推奨。暴露後2回（3日間）。B型肝炎は輸入ワクチンを推奨。（A型肝炎・B型肝炎混合）髄膜炎と腸チフスは地域別で推奨。マラリアと高山病予防薬は、地域別のリスクと行動に合わせて処方。④の初回Tdapと破傷風の選択は費用による。破傷風はTdapの半額でDPTと同じ。2回目はDPTを推奨（あるいはDPT-P）。

### 7) 欧米先進諸国へ留学（高校生、大学生）

(MMRV：麻疹風疹おたふく水痘の抗体検査、IGRA：結核を否定する検査)

接種日	Tdap	IPV	B型肝炎	髄膜炎	MMRV	IGRA	インフル	ガーダシル	証明書
初日	◎	◎	◎	◎	◎	○	△	□	
1週間後					不足を追加				○
3～4週間後		○	◎		(◎)				◎
2カ月後								□	
6カ月			◎					□	◎
1年後			(○帰国後)						

【◎：ぜひとも〔推奨〕 ○：できるだけ〔推薦〕 □：できれば〔推選〕 △：希望なら】

北米及び西欧留学あるいは現地校への入学には、これら4種類の追加接種と検査が必要。英文証明書を持参する。中南米、アジア、東欧諸国への留学では、この4種類以外にそれぞれ必要な追加接種を計画する。

⇒破傷風を含むワクチンの説明・・・Tdap：成人および留学用の輸入DPTで破傷風を多く含む、DPT：DPT3種混合（破傷風ジフテリア百日咳）、DPT-P：4種混合（DPT+IPV（不活化ポリオ））

⇒常備している輸入ワクチン：Tdap、A型肝炎・B型肝炎混合（Twinrix）、A型肝炎（Avaxim）、B型肝炎（EngerixB）、狂犬病（Verorab）、MMR（麻疹風疹おたふくかぜ）混合（MMRII）、腸チフス（Typhbar, TyphimVi）、ダニ脳炎（FSME-immune）、4価髄膜炎（Niemenrix）

2023.1 名鉄病院予防接種センター